



こ ばやし たか とら
小林 貴 虎

しみん
市民クラブ

三重短期大学のあり方を問う

問 三重短期大学は、女性教育と技能習得を目的に家政科が設置され、当時先進的だった由緒ある学校である。食物栄養学専攻は栄養士資格が取得できるが、上位資格の管理栄養士取得を求める声が多い。関連企業への就職率も高く市外出身者の市内定住も見込めるため、専攻科を設置し、不適切な教員の政治活動を改め、市民の付託に値する学校に生まれ変わることを求める。

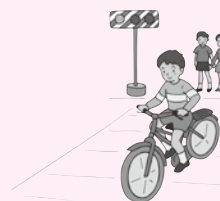
答 三重短期大学の生活科学科、食物栄養学専攻の学生や卒業生の中には、栄養士の上位資格である管理栄養士の取得を希望するものが多いと聞いている。しかし、本学において管理栄養士資格を取得するためには、本学を4年制に移行するか専攻科課程を設置する必要がある、スタッフの充実や施設の拡充が必要となる。

また、本学には市外出身の学生が多く在籍しており、その学生が市内の企業に就職することは大いに期待するところであり、就職指導の中で市内企業への就職を積極的にアピールしている。

教員の政治活動については、学長において事実関係をしっかりと調査するとともに、それに対する見解を明らかにして市長に報告する。

●その他の質疑・質問●

- 堤防改修後の交通遊園およびヨットハーバー付近の利活用に関して
- U I Jターン促進のための事業の今後について



▲三重短期大学に管理栄養士資格取得のための専攻科設置を



わた なべ てる かず
渡 辺 晃 一

大谷踏切の拡幅と上井生踏切廃止への対応は

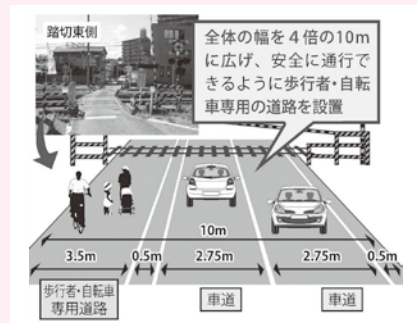
問 津駅北側の大谷踏切は狭隘で危険だが、この踏切の拡幅計画は17年間も代替の廃止踏切が決まらず、懸案事項で放置されてきた。今回、一志町井生区と上井生自治会のご理解で、上井生踏切の廃止が決まったが、廃止後利用者に不便を掛けることから地元に対しどのような誠意ある対応をするのか。また、大谷踏切に対し不退転の決意で早期拡幅に取り組む市長の思いは。

答 大谷踏切の拡幅整備を大きく前進させることができるのは、上井生踏切の廃止に同意いただいた一志町井生区と上井生自治会の皆さまのご協力のおかげであり、心から感謝している。踏切の廃止に伴って、通行できなくなる市道井生320号線は、機能回復工事を行い、踏切の手前に転回広場を整備する。また、迂回路線の側溝整備等の要望をいただいていることから、誠意を持って対応していく。

大谷踏切に関しては、主要地方道津関線との取り付け勾配や近鉄のアンダーパス部分の高さの確保、道路用地を確保するための用地交渉、有利な財源を確保するための国・県との調整など、非常に難しい課題がいくつかあるが、これら一つ一つをしっかりと解決していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 中長期的な生活排水処理対策（下水道）の推進について
- 援護課と社協の生活困窮者自立支援事業について
- 津市職員の新規防災服提案と津市消防団の活性化について
- 法改正により鳥獣保護法の認定鳥獣捕獲等事業者制度で警備保障会社等は新規参入できないのか
- 県道中川原橋の進捗は など



▲拡幅後のイメージ図。安心、安全な大谷踏切拡幅を